

令和2年度 青森県地域年金展開事業 取組報告



青森年金事務所
(青森県代表年金事務所)

目 次

1 地域連携事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

2 年金セミナー事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

3 地域相談事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

4 年金委員活動支援事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

6 各年金事務所の取組状況

7 青森県地域年金事業運営調整会議

1 地域連携事業

(1) 事業の取組結果

自治体との連携

- 各年金事務所において、管内市町村国民年金事務新任担当者研修会を計画しましたが、年度初めに新型コロナウイルス感染症にかかる国の緊急事態宣言により、実施時期が例年より遅れことや、感染拡大防止対策として実施を見送ったため、回数を減らした年金事務所がありました。

○ 研修会の実施回数及び出席者数

令和3年3月31日現在

事務所名	令和元年度		令和2年度		増 減	
	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数
青 森	2回	23名	2回	15名	増減なし	8名減
八 戸	2回	28名	0回	-	2回減	28名減
弘 前	2回	48名	1回	12名	1回減	36名減
む つ	2回	29名	1回	17名	1回減	12名減
合 計	8回	128名	4回	44名	4回減	84名減

- ・市町村の国民年金事務担当者研修会の遅れや未実施に対する意見交換の場として、直接市町村を訪問し理事者(首長)等との意見交換を実施しました。
- ・市町村の国民年金事務担当者向けに、情報誌「かけはし」を発行し、制度や事務手続き、各種お知らせを周知しました。(奇数月発行)
- ・市町村発行の広報誌へ公的年金制度の周知に関する掲載依頼を実施しました。
- ・防災無線やケーブルテレビなどの広報媒体を活用した制度周知の協力依頼を実施しました。
- ・全市町村に「わたしと年金」エッセイ募集ポスターの掲示、リーフレットの設置をしていただきました。
また、11月には「ねんきん月間」周知用ポスターの掲示、リーフレットの設置をしていただきました。
- ・各年金事務所から管内市町村に対し、予約制年金相談周知用ポスターの掲示、リーフレット設置の協力依頼を実施しました。
- ・成人式における国民年金制度リーフレットの配布について協力依頼を実施しました。

市町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰

- ・南部町が、年金事務所とともに「平成30年度納付率80%達成」という共通目標を設定し、人員体制を2名から3名に増員して、目標を達成したことなどが評価され、令和2年10月1日厚生労働大臣より表彰されました。

関係団体との連携

- ・ 青森県社会保険労務士会との打ち合わせを毎月実施し、各年金事務所の相談窓口の業務委託の状況や課題、届書等の取扱いにかかる留意事項について、会員の社会保険労務士へ周知を図っていただきました。
- ・ 各関係団体との共催による研修会・制度説明会の実施および各関係団体主催による研修会・制度説明会へ講師派遣を行いました。
- ・ 「街角の年金相談センター青森(オフィス)の運営」及び「各年金事務所の年金相談窓口の業務委託」について、オフィス及び青森県社会保険労務士会と協力し、お客様に身近で便利な年金相談窓口として利用していただけるよう連携を図りました。
- ・ 一般財団法人青森県社会保険協会発行の「社会保険 あおもり」に記事の提供を行い、事業所に対して社会保険制度及び予約制による年金相談の周知を図りました。

(偶数月発行)

○ 関係団体における制度説明会の実施状況

令和3年3月31日現在

団 体 名	実施回数	参加者数	開催事務所	内 容
一般財団法人青森県社会保険協会	4回(4回)	126人	全事務所	初任者社会保険事務研修

* 注: 実施回数()内は令和元年度実績

その他特徴的な取組

【青森】

- ・ 県内における予約制年金相談の周知のため、周知用ポスター掲示の協力依頼を実施しました。
 - 青い森鉄道(26駅)
 - JR青森駅構内
 - 県内主要金融機関
 - 県内全域に店舗を有する大規模小売店

【八戸】

- ・ 駐留軍労働者労務管理機構三沢支部主催「退職準備研修会」において、退職後の年金制度等について説明を行いました。(39名)
- ・ ねんきんネットの利用促進のため、出張年金相談や年金セミナーなどの接触時を活用し、利用促進用リーフレットの配布を実施しました。
- ・ 県内における予約制年金相談周知のため、八戸市に本店があり県内全域に店舗を有する金融機関やスーパーマーケットに対して、周知用ポスター掲示の協力依頼を実施しました。

【弘前】

- ・ ハローワーク弘前主催の閉鎖予定事業所でのアシストハローワークへ講師派遣を行い、退職後の国民年金制度の手続き等について説明を行いました。

【むつ】

- ・ 県内における予約制年金相談周知のため、むつ市に本店があり県内全域に店舗を有するスーパーマーケットに対して、周知用ポスター掲示及びリーフレットの設置等協力依頼を実施しました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・ 市町村との意見交換の機会として、理事者への協力依頼を実施しながら一層の連携を図りました。 ・ 予約制年金相談周知のため、県内全域に店舗等を有する企業の本社に対して、管轄する年金事務所から協力依頼を行い、お客様のサービス向上を図ることができました。 ・ あわせて多くの関係機関へ協力依頼を行いました。予約率向上に結びつきました。	・ 今後も市町村のニーズをお聞きしながら事業計画に沿った研修等を実施してまいります。また、研修会に限らず、市町村職員のご意見を伺える機会を設けながら一層の連携を図ってまいります。 ・ ねんきんネットの利用拡大に向け、研修会や説明会等におけるリーフレット配付や職域型年金委員への協力依頼について取り組んでいきます。また、予約制年金相談についても関係機関に対する協力依頼を実施し更なる普及拡大に努めてまいります。

2 年金セミナー事業

(1) 事業の取組結果

年金セミナー開催に向けたアプローチ

- ・青森県教育庁や高等学校長協会等の関係機関の協力を得て周知を図り、高校・大学等に対し年金セミナーの実施に向けた要請を実施しました。
- ・地域年金推進委員を活用し、高校へ非対面形式(オンライン・DVD動画)を含めたセミナーアプローチを実施しました。

<アプローチ数：216回(令和元年度:217回)>

年金セミナーの実施

- ・上記アプローチの結果、下記のとおり62校で実施することができました。
(新規実施校8校)
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として、DVDを活用した非対面型の年金セミナーの実施依頼を行い、31校でDVD動画を用いたセミナー実施ができました。

○ 年金セミナー実施状況(事務所別)

令和3年3月31日現在

事務所名	令和元年度	令和2年度	増減	新規実施校
青 森	13校(13回)	16校(16回)	3校増(3回増)	4校(4回)
八 戸	31校(32回)	25校(25回)	6校減(7回減)	1校(1回)
弘 前	16校(16回)	13校(13回)	3校減(3回減)	3校(3回)
む つ	8校(8回)	8校(8回)	増減なし	0校(0回)
合 計	68校(69回)	62校(62回)	6校減(7回減)	8校(8回)

○ 教育機関別実施内訳

令和3年3月31日現在

教育機関	令和元年度	令和2年度	増 減
大学、短大	2校 (280名)	実施なし	2校減 (280名減)
各種学校	13校 (570名)	5校 (186名)	8校減 (384名減)
高等学校	53校 (6,128名)	57校 (6,049名)	4校増 (79名減)
合 計	68校 (6,978名)	62校 (6,235名)	6校減 (743名減)

()は受講者数



年金セミナーの様子

年金セミナーアンケート結果

アンケートに協力をいただいた62校(6,235名)の結果において、年金に対するイメージが大幅に改善されています。

○ 「とても良い・まあ良い」と回答した者の割合

令和3年3月31日現在

教育機関	受講前	受講後
大学・短大	—	—
各種学校	41.9% (78名)	81.2% (151名)
高等学校	42.3% (2,559名)	88.7% (5,367名)
合 計	42.3% (2,637名)	88.5% (5,518名)

関係団体との協力連携

- ・青森県との協力連携

青森県教育庁及び総務部総務学事課に対して、県内の公立高等学校及び私立中学校・高等学校における、年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

- ・青森県高等学校長協会との協力連携

県内の公立高等学校における、年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

- ・青森県内市町村教育委員会との協力連携

県内中学校における「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

- ・自治体、関係機関との協力連携

青森県立図書館、青森市民図書館および男女共同参画プラザに対して、「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示及び過去の入賞作品集の設置の協力依頼を実施しました。

- ・青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会との協力連携

県内の各商工会議所及び商工会に対して「わたしと年金」エッセイ募集について、周知用ポスター掲示とリーフレットの設置等の協力依頼を実施しました。

令和2年度「わたしと年金」エッセイ応募結果

- ・青森県内からの応募はありませんでした。

年度	一般	学生			合計
		中学生	高校生(専門学校等)	大学生	
令和元年度	104名	11名	1,141名(9名)	34名	1,290名
令和2年度	54名	8名	878名(1名)	2名	942名

地域年金推進員の活用

学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB2名を「地域年金推進員」として委嘱し、県内を青森・弘前年金事務所管内と八戸・むつ年金事務所管内の2地区に分け、高等学校を中心に年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイの応募について、協力依頼を実施しました。

令和元年度に引き続き2名の地域年金推進員によるきめ細かなアプローチを継続的に実施し、新たに8校から年金セミナーの依頼を受け実施しました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・年金セミナーについて、新たな実施校が8校増となりましたが、コロナ禍の中、令和元年度に実施していた専門学校等が開催を見送ったため、前年度より6校減となりました。 ・高校における年金セミナーの実施時期について、12月までの実施校が9校から13校へ4校増となりましたが、2月の実施校が41校と昨年度より7校増となり、効率的な実施に向けて職員の育成及び地域年金推進員を講師とした実施体制を整える必要があります。 ・「わたしと年金」エッセイ募集について、関係団体に対して、パンフレットの設置及び、ポスター掲示の協力依頼を行いました。令和2度の応募者はありませんでした。	・高校生を始めとした若い世代への年金セミナーは、公的年金制度の周知に必要不可欠なことから、新型コロナウイルス感染症防止対策を図り、教育機関の理解を得ながら、実施校が2年連続して減とまらないよう、Web会議ツールを活用した非対面セミナーの実施などを検討しながら取り組んで行く必要があります。 ・「わたしと年金」エッセイ募集について、関係団体への協力依頼と、年金セミナー開催校への取組を引き続き行ってまいります。

3 地域相談事業

(1) 事業の取組結果

市町村での出張年金相談

年金事務所に直接出向くことが困難なお客様の利便性向上や市町村の要望により、県内3事務所において定期的な出張年金相談を実施しましたが、全国の緊急事態宣言や県内でのウイルス感染者の発生状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症防止対策として、市町村と開催可否の検討を行いながら開催しました。その結果、計画していた全45回の出張年金相談のうち、9回が中止となりました。

出張年金相談の実施日については、実施市町村の窓口での周知や広報誌への掲載を依頼するとともに、一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌、日本年金機構発行の適用事業所や地域型年金委員向け広報誌に掲載し周知に努め、実施にあたっては予約制により、お客様にお待ちいただくことなく効率的に年金相談が実施できました。

なお、各出張年金相談においては、街角の年金相談センター青森(オフィス)から1名を配置していただき、共同で実施しました。

また、ねんきん月間において年金相談や国民年金保険料納付・免除相談を県内全事務所で実施しました。むつ年金事務所管内では、大間町と六ヶ所村において平成30年度以降中断されていた年金相談会等を開催し、大間町で免除相談2名、年金相談1名、六ヶ所村で免除と年金の相談各1名の相談を実施することができました。

○ 市町村での出張年金相談の実施状況

令和3年3月31日現在

事務所名	実施場所（実施日程）	相談者数	
		令和元年度	令和2年度
青 森	野辺地町(偶数月) (中止1回)	57名	44名
	七戸町(奇数月) (中止1回)	42名	44名
八 戸	十和田市役所(毎月1回) (中止1回)	201名	122名
	三沢市(偶数月) (中止1回)	74名	51名
弘 前	五所川原市役所(毎月1回)(中止2回)	135名	97名
	つがる市役所(毎月1回) (中止3回)	126名	92名
合 計	開催45回、中止9回	635名	450名

ハローワークにおける国民年金説明会の実施状況

これまで、各ハローワークで実施されていた集合形式の離職者説明会については、新型コロナウイルス感染症の流行後、令和2年3月から県内全てのハローワークにおいて一時中断されました。

現在、各ハローワークの離職者説明会は、1回あたりの人数制限を行い実施回数を増やすなど感染防止対策を図りながら再開されていますが、感染防止対策として時間の短縮を図る必要があり、従来のように年金事務所職員が直接説明をする時間をいただくことができていません。その対応として、ハローワーク職員が説明を行いながら、離職後の年金手続きに関するチラシや申請書等について、配布の協力をいただいております。

また、コロナ禍の中、やむなく事業閉鎖される事業所内に設置されたアシストハローワーク(ハローワークの臨時庁外窓口)において、離職後の国民年金の手続きについて説明の時間をいただき、周知を図ることができました。説明会終了後には、離職後の年金手続等の相談会も併せて実施しました。

○ アシストハローワークの実施状況

令和3年3月31日現在

事務所名	アシストハローワーク	回数	参加者数	相談者数
青 森	ハローワーク青森	3回	73人	0人
	ハローワーク黒石	4回	90人	14人
八 戸	ハローワーク八戸	1回	59人	5人
弘 前	ハローワーク弘前	2回	110名	28人
む つ	ハローワークむつ	3回	203人	43人
合 計		13回	535人	90人

「ねんきんネット」利用の促進

各年金事務所において、年金相談や国民年金手続きで来所された方を始め、年金委員や適用事業所(被保険者)等へ「ねんきんネット」利用に必要なアクセスキーの申し込み協力依頼を行い、各年金事務所とも年間の発行目標数を上回ることができました。

○目標達成状況

令和3年3月31日現在

事務所名	目標	実績	達成
青 森	1,462	4,220	288.6%
八 戸	1,685	5,935	352.2%
弘 前	1,610	3,125	194.0%
む つ	366	910	248.6%



(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ コロナ禍の中ですが、地域住民の利便性を確保するため、新型コロナウイルス感染防止対策及び市町村との連携を図りながら、出張年金相談を行いました。
- ・ 出張年金相談の開催にあたり、街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し共同で実施しました。
- ・ コロナ禍により、ハローワークの離職者説明会で直接説明はできていませんが、アシストハローワークにおいて、離職後の国民年金手続きについて周知を図ることができました。引き続き連携を図っていきます。

今後の対策

- ・ 出張年金相談については、市町村からの要望等も踏まえ、お客様の利便性向上のため街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し引き続き実施してまいります。
- ・ 離職後の国民年金手続きや特例免除制度の周知等を図るうえでは、ハローワークでの説明会は貴重な機会であり、引き続き協力連携を図ってまいります。
- ・ アシストハローワークなど多方面での年金制度説明会実施にむけ、関係機関との連携を図ってまいります。
- ・ 年金事務所に来所された方を始め年金委員や適用事業所へ「ねんきんネット」アクセスキー申し込みの協力依頼を積極的に進めていきます。

4 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組結果

年金委員への研修会、意見交換会の実施

職域型年金委員に対して従来実施していた、全国健康保険協会青森支部や青森、八戸、弘前、むつの各社会保険委員会との共催による研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでした。

その代替えとして、研修会で配布予定の資料を年金委員に送付することにより、活動支援を行いました。

また、11月の年金委員の功労者表彰にあわせて実施していた研修会についても、コロナ禍の感染防止対策を優先したため実施できませんでした。

地域型年金委員に対して、各年金事務所において従来実施していた地域型年金委員連絡会についても、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでした。

全国の職域・地域型年金委員に対して、6月に新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例制度の情報提供を行い、制度の活用と周知・広報の依頼を行いました。

また、11月には、新たに「職域型年金委員活動の手引き」を作成し、制度周知のため各種リーフレットと併せて、職域型年金委員に情報提供を行いました。更に、オンラインで開催された「全国年金委員研修」に、各年金事務所から13名の年金委員が参加しました。

○全国年金委員研修の参加者数（令和2年11月27日開催）

事務所名	職域型	地域型	合計
青 森	5名	0名	5名
八 戸	1名	1名	2名
弘 前	0名	2名	2名
む つ	1名	3名	4名

年金委員表彰の実施

「ねんきん月間」において、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に対し、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては、県内の全年金事務所、全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会、青森県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

- 開催日 令和2年11月17日(火)
- 開催場所 ホテルクラウンパレス青森
- 受賞者数 厚生労働大臣表彰 1名
日本年金機構理事長表彰 3名
日本年金機構理事表彰 9名
- 表彰伝達式出席者 40名

共催機関においても、それぞれ表彰を行いました。



厚生労働大臣表彰伝達式の様子



年金委員の功労者表彰伝達式の様子



健康保険委員の功労者表彰伝達式の様子

年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

- ・ 社会保険新規適用事業所に対して、毎月年金委員の推薦依頼を実施しました。
- ・ 一般財団法人青森県社会保険協会が発行している会報誌「社会保険あおもり」(10月号)に「年金委員・健康保険委員」募集の記事掲載の協力をいただきました。
- ・ 既に、年金委員がいる事業所に対して、複数名の年金委員推薦をしていただけるよう、一般財団法人社会保険協会の記事掲載に併せて、11月の「ねんきん月間」に文書による推薦勧奨を実施し、新たに48名の推薦をいただくことができました。
- ・ 年金委員の未設置事業所に対して、春の事務担当者の交代の時期に併せて、文書による年金委員の推薦依頼を実施しました。
- ・ 全国健康保険協会青森支部の協力により、新規の健康保険委員へ年金委員制度の周知及び推薦依頼の案内文書を同封していただき、今年度16名の新たな推薦を得ることができました。
- ・ 青森県社会保険労務士会に対して、地域型年金委員の推薦依頼を実施しました。
- ・ 青森県健康福祉部健康福祉政策課に対して、各市町村から民生委員を地域型年金委員として推薦いただけるよう協力依頼を実施しました。

○ 年金委員数の推移

令和3年3月31日現在

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職域型	1,486名	1,449名	1,429名	1,426名	1,445名
地域型	81名	79名	67名	69名	75名
合 計	1,567名	1,528名	1,496名	1,495名	1,520名

○年金委員推薦勸奨実施状況

令和3年3月31日現在

	実施月	対象事業所の条件	勸奨事業所数	推薦件数
青森	毎月(5.6月除く)	新規適用事業所	176事業所	2事業所
	11月	既設置事業所(被保険者数30名以上)	184事業所	22事業所
	1月	未設置事業所(被保険者数8名～9名)	322事業所	1事業所
八戸	10月	既設置事業所	428事業所	26事業所
むつ	5月	未設置事業所(被保険者数20名以上)	82事業所	1事業所
	11月	全国健康保険協会青森支部健康宣言事業所	31事業所	推薦なし
	12月	既設置事業所	140事業所	5事業所

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ コロナ禍の中、職域・地域型年金委員を対象とした研修会等の開催ができませんでしたが、オンラインで開催された「全国年金委員研修」では職域型・地域型含め13名の参加があり制度周知を行うことができました。
- ・ 全国健康保険協会青森支部の協力により、新規健康保険委員委嘱者に対し年金委員制度の周知・勸奨を実施していただきました。
- ・ 年金委員委嘱拡大の取組として年金委員の既設置事業所へ推薦依頼を実施し、複数名の委員を設置することができました。

今後の対策

- ・ 研修会等の開催にあたっては、現在オンライン化による具体的な施策を検討しております。
- ・ 職域型年金委員の委嘱拡大は、同一事業所への複数名の委嘱に限らず、未設置事業所への新たな委嘱も重要なため引き続き取り組んでまいります。
- ・ 地域型年金委員の委嘱拡大については、公的年金制度の知識に長けた社会保険労務士や、地域において活動している方への委嘱拡大を目的に関係機関や自治体への推薦依頼と市町村広報誌を活用した募集を行ってまいります。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開してきました。

また、国民お一人お一人に「ねんきんネット」を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日(いいみらい)を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただく取組を実施しています。

「ねんきん月間」

- 例年、東京都で実施されていた「全国年金委員研修」がコロナ禍の中、各年金事務所において感染症予防対策を講じたうえで、テレビ会議システムを活用したリモート形式により開催され、全国の多くの年金委員が参加することができました。
- 各市町村において、出張年金相談会と国民年金保険料免除相談会を実施しました。各年金事務所における取組(詳細)については、20～23ページを参照。

「年金の日」

事務所名	取組場所	取組内容
青 森	青森市郊外商業施設	予約相談ポスター・リーフレットの掲示等依頼
弘 前	JR弘前駅(東西出入口)	予約相談チラシの配布

6 各年金事務所の取組状況

青森年金事務所の取組

ねんきん月間の取組結果

- 管内高等学校における年金セミナーの実施。
- 例年、青森市郊外大型商業施設において実施していた、「年金の日」「ねんきんネット」「予約相談」等の公的年金制度チラシ等の配布は、新型コロナウイルス感染症対策として中止したが、店舗へのチラシ設置等の協力依頼を実施。
- 管内事業所、大学、短期大学に「ねんきんネット」「予約相談」のチラシ設置の協力依頼を実施。
- 七戸町及び野辺地町において、国民年金保険料の免除相談会を実施。
- 地域型年金委員へ、「年金の日」のポスターを送付し掲示等協力依頼を実施。



高校での年金セミナーの様子

その他の主な取組結果

- 予約による年金相談の周知・拡充を図るため、県内主要金融機関・県内全域に店舗を持つ大規模小売店・JR東日本(奥羽線・五能線)主要駅、JR北海道(奥津軽いまべつ駅)等に周知用ポスター掲示やチラシの設置等の協力依頼を実施。
- 年金委員委嘱拡大の取組として、毎月の新規適用事業所、及び年金委員の既設置事業所に対して、複数名の推薦依頼文書を送付。

八戸年金事務所の取組

ねんきん月間の取組結果

- 年金事務所内で近隣の保育園児による児童画を展示。
- 管内の高等学校に対して、「年金セミナー開催へのアプローチ」を実施。
- 年金事務所において国民年金保険料の免除相談会を開催。
- 十和田市において、出張年金相談を実施。
- 職域型年金委員表彰事業所へねんきんネットの利用促進の依頼を行い、アクセスキーの発行及びID取得勧奨を実施。
- 職域型年金委員の委嘱拡大として、事業所へ推薦依頼文書を送付。



保育園児による
児童画の展示

その他の主な取組結果

- 予約による年金相談の周知・拡充を図るため、八戸市に本店があり、県内全域に支店を有する金融機関に対して、周知用ポスター掲示やチラシ設置等の協力依頼を実施。
- 田子町において、ケーブルテレビを活用した制度広報等を実施。



弘前年金事務所の取組

ねんきん月間の取組結果

- JR弘前駅(東西出入口)において、年金予約相談周知用リーフレットの配布を実施。
- 五所川原市、つがる市において、出張年金相談を実施。
- リモートで開催された全国年金委員研修に地域型年金委員2名が参加。研修後、意見交換を実施。



JR弘前駅でのリーフレット配布の様子

その他の主な取組結果

- 職域型年金委員に対し、年金の日ポスター、年金月間リーフレット、「ねんきんネット」周知用リーフレット、社会保険関係届書等の手続きに係る電子申請利用リーフレット等を送付し協力依頼を実施。
- ハローワーク弘前主催の閉鎖予定事業所でのアシストハローワークへ講師派遣を行い、退職後の国民年金制度や手続き等について説明を実施。

むつ年金事務所の取組

ねんきん月間の取組結果

- 職域型年金委員へ研修会資料及び電子申請案内、アクセスキー申込書、予約相談チラシを送付。
- 六ヶ所村、大町間にて年金相談及び免除相談会を実施。
- むつ市内商業施設で、予約年金相談のチラシ、ポスター、年金の日のポスター掲示。



高校での年金セミナーの様子

その他の主な取組結果

- 職域型年金委員の未設置事業所あてに、年金委員の推薦依頼の勧奨を実施。
- 事業所へ、電子申請案内、アクセスキー申込書、予約相談チラシを送付し利用登録等の協力依頼を実施。
- 初任者社会保険事務講習会において、予約年金相談の周知及び、年金委員推薦の依頼を実施。
- むつ市地域自立支援協議会研修会へ講師派遣を行い、障害年金について説明を実施。
- むつ税務署へ電子申請利用リーフレット設置の協力依頼を実施。

7 青森県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度への加入や国民年金保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

< 第16回会議 >

【開催日】

- ・令和2年7月(書面開催)

【議事内容】

- ・令和元年度青森県地域年金展開事業 取組報告
- ・令和2年度青森県地域年金展開事業 事業計画

< 第17回会議 >

【開催日】

- ・令和3年2月(書面開催)

【議事内容】

- ・令和2年度青森県地域年金展開事業 取組状況
- ・令和3年度青森県地域年金展開事業 事業計画(案)